

算定基礎届に退職社員が表示されてしまう場合の対処方法 『これから算定基礎処理を行う場合』

この資料は以下の製品について記述したものです。

- ・ 給与奉行 V ERP シリーズ
- ・ 給与奉行 / シリーズ

内 容

[社会保険]-[算定基礎処理]メニューで、退職社員が表示されてしまう現象の対処方法について記載します。

対処方法

社員情報登録で社保加入区分を「0：未加入」に変更する

退職社員を表示させないために、以下の作業を行ってください。

[社員情報]-[社員情報登録]-[社員情報登録]メニューの[社会保険]ページで、「資格喪失年月日」を入力します。以上で、[社会保険]-[算定基礎処理]-[算定基礎処理]メニューで、退職社員が表示されなくなります。

社会保険	労働保険	住民税・通勤手当	給与支給	賞与支給	中途・区分
健康保険					
健保証番号	169754				
介護保険区分	0	対象外			
健保賞与区分	0	計算不要			
資格取得年月日	1989年 4月 1日				
資格喪失年月日	2011年 4月 1日				
資格喪失原因	4	4:その他			
健保適用判定区分	1	判定する			
介護適用判定区分	1	判定する			
厚生年金保険					
厚生年金番号	256095				
種別	02	2:女子			
厚生賞与区分	0	計算不要			
資格取得年月日	1989年 4月 1日				
資格喪失年月日	2011年 4月 1日				
資格喪失原因	4	4:その他			
厚生適用判定区分	1	判定する			
厚生年金基金					
加入員番号					
資格取得年月日	年 月 日				
資格喪失年月日	年 月 日				
資格喪失原因	0	対象外			
健康保険報酬					
健保標準報酬	0440	千円			
健康保険料	20,504				
(基本保険料)	12,804				
(特定保険料)	7,700				
介護保険料	0				
厚生年金基金					
厚生標準報酬	0440	千円			
厚生年金保険	35,328				
厚生年金基金	0				

ただし、退職社員 1 名 1 名に「資格入力年月日」を入力するのが大変な場合は、同じ[社会保険]ページにある社保加入区分を「0:未加入」に変更することでも、[社会保険]-[算定基礎処理]-[算定基礎処理]メニューで、退職社員が表示されなくなります。

※7月1日以降に退職する社員（資格喪失年月日が7月2日以降）は、算定基礎届の対象となるため、「0：未加入」には変更しないでください。

基 本	給与・単価	就 業	家族・所得税	社会保険	労働保険	住民税・通勤手当
【社会保険情報】						
基礎年金番号		4461597809				
社保加入区分		0 未加入				
月額保険料負担区分		0 保険料負担表				
パート区分		0 対象外				
健康保険		健康証番号 169754				
介護保険区分		0 対象外				
健保宜与区分		0 計算不要				
資格取得年月日		1989年 4月 1日				
資格喪失年月日		年 月 日				
資格喪失原因		0 対象外				
健保適用判定区分		1 判定する				
介護適用判定区分		1 判定する				

なお、退職社員の人数が多い場合で、社員 1 名 1 名の社保加入区分を変更していくのが大変な場合は、下記の

汎用データを利用して、社保加入区分を一括で「0：未加入」に変更する

[＜退職社員の人数が多い場合の手順＞](#)

の作業を行ってください。

汎用データを利用して、社保加入区分を一括で「0：未加入」に変更する

[＜退職社員の人数が多い場合の手順＞](#)

以下の作業をする前に、必ず[随時処理]-[バックアップ]メニューでバックアップデータを作成しておいてください。

退職社員を印刷・作成させないために、以下の作業を行ってください。

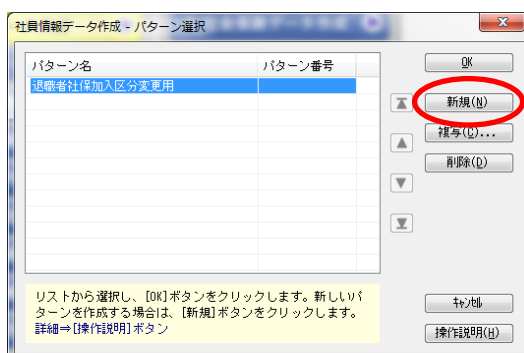
まず、[随時処理]-[汎用データ作成]-[社員情報データ作成]-[社員情報データ作成]メニューを利用して、汎用データ上で在籍区分が「2：退職」の社員を確認し、退職社員の社保加入区分を「0：未加入」に変更します。

続いて、[随時処理]-[汎用データ受入]-[社員情報データ受入]-[社員情報データ受入]メニューで、「0：未加入」に変更した社保加入区分を受け入れます。

作業手順は、以下のとおりです。

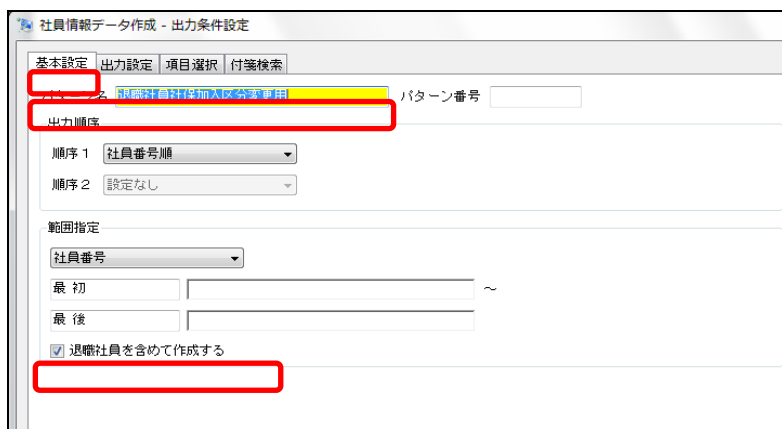
①[随時処理]-[汎用データ作成]-[社員情報データ作成]-[社員情報データ作成]メニューを選択します。

- ②[社員情報データ作成 - パターン選択]画面で[新規]ボタンをクリックし、新規の作成パターンを設定します。



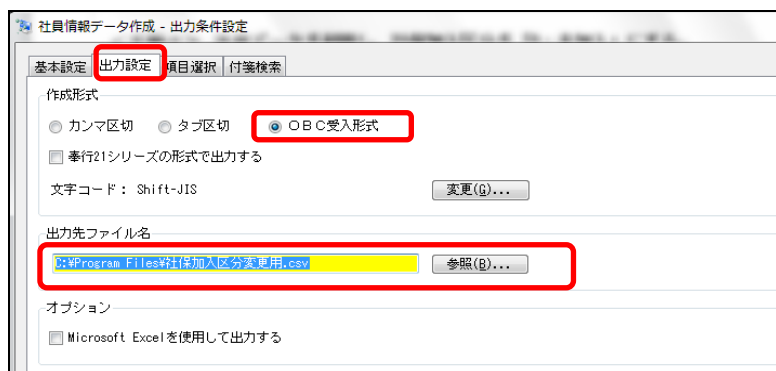
- ③[基本設定]ページの範囲指定で、「退職社員を含めて作成する」にチェックを付けます。

※パターン名には、「退職社員社保加入区分変更用」などと、分かりやすい名称を入力してください。



- ④[出力設定]ページの作成形式で、「OBC受入形式」を選択します。出力先ファイル名で、ファイルの出力先とファイル名を指定します。

※例として、以下の画面では出力先ファイル名を「C:\Program Files\社保加入区分変更用.csv」としています。



⑤[項目選択]ページの情報種類が「基本」の中から、社員番号・氏名・在籍区分を選択し、選択済項目に追加します。

続いて、情報種類が「社会保険」の中から、社保加入区分を選択し、選択済項目に追加します。

⑥[出力開始]ボタンをクリックし、汎用データを作成します。

⑦作成した汎用データのファイルを、Microsoft Excel等で開きます。

C列（1行目の受入記号が「EBAS006」の列）の中で、値が「2」（退職）の行を検索します。

該当するすべての行に対して、D列（1行目の受入記号「ES0C002」の列）の値を「0」（未加入）に変更して、ファイルを上書きで保存します。

※7月1日以降に退職する社員（資格喪失年月日が7月2日以降）は、算定基礎届の対象となるため、「0」（未加入）には変更しないでください。

	A	B	C	D	E
1	EBAS001	EBAS003	EBAS006	ES0C002	
2	100000	山田 一朗	0	1	
3	100001	川谷 しげる	0	1	
4	100002	小川 いずみ	0	1	
5	100003	小山 信一	0	1	
6	100004	新井 清雄	0	1	
7	100005	麻田 徳治	0	1	
8	100006	加藤 恭子	0	1	
9	100007	田中 敏夫	0	1	
10	100008	藤川 光男	0	1	
11	100009	野村 美由紀	2	0	
12	100010	福岡 明夫	0	1	
13	100011	政岡 信夫	3	1	
14	100012	森沢 公彰	0	1	
15	100013	筒井 英治	0	1	

C列（「EBAS006」の列）の中で、値が「2」（退職）の行を検索します。
その行のD列（「ES0C002」の列）の値を「0」（未加入）に変更します。

⑧[随時処理]-[汎用データ受入]-[社員情報データ受入]-[社員情報データ受入]メニューを選択します。

⑨[社員情報データ受入 - パターン選択]画面で[新規]ボタンをクリックし、新規の受入パターンを設定します。

⑩[受入ファイル設定]ページで、受入ファイル名を指定します。

受入データ形式に「[100] O B C 受入形式」を選択し、⑦で保存した汎用データのファイルを、受入元ファイル名に指定します。

※パターン名には、「退職社員社保加入区分変更用」などと、分かりやすい名称を入力してください。

社員情報データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 | 重複条件設定 | エラー情報設定

パターン名: 退職社員社保加入区分変更用 | パターン番号:

受入データ形式: [100] O B C 受入形式 | 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字: | 受入開始位置:

受入元ファイル名: C:\Program Files\社保加入区分変更用.csv | 参照(R)...

文字コード: Shift-JIS | 変更(A)...

⑪[重複条件設定]ページで、「すでに登録済みの社員番号と重複する汎用データを受け入れる」にチェックを付けます。

社員情報データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 | 重複条件設定 | エラー情報設定

処理選択

☒ すでに登録済みの社員番号と重複する汎用データを受け入れる

☐ 汎用データ内の空白(文字のないデータ)を受入対象として、すでに登録済みのデータを更新する

空白を受入対象とする項目: 基本情報

⑫[受入開始]ボタンをクリックし、汎用データを受け入れます。

⑬受入済リストにて、退職社員の社保加入区分が「0」（未加入）になっていることを確認してください。

受 入 済 リ ス ト			
O B C 商事株式会社 社員情報データ受入			
社員番号	氏名	在籍区分	社保加入区分
100000	山田 一朗	0	0
100001	川谷 しげる	0	1
100002	小川 いずみ	0	1
100003	小山 信一	0	1
100004	新井 清雄	0	1
100005	麻田 徳治	0	1
100006	加藤 恭子	0	1
100007	田中 敏夫	0	1
100008	藤川 光男	0	1
100009	野村 美由紀	2	0
100010	福岡 明夫	0	1

以 上